

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	レクタス放課後等デイサービス都筑ふれあいの丘教室		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	本事業所では、一對一の学習支援活動を行っている。担当スタッフは一人ひとりの困り感に合わせてオーダーメイドの内容で支援にあたっている。また、学校行事やその日の気分など、その子の様子に合わせて個々に対応することができる。同じスタッフによる継続的な支援を行うことで、寄り添った支援を行うことができると考える。	利用者一人当たりの30分間は、担当するスタッフとマンツーマンで活動を行う。学習が中心であるが、会話や遊びを通してコミュニケーション等の困り感の解消にも取り組んでいる。また、すべての学年に対応できるよう、多彩なスタッフが勤務しており、利用者とのマッチングも意識して行っている。	マンツーマンでの支援活動後には、担当スタッフと活動の振り返りを行っていききたい。その日の内容の確認や反省だけでなく、今後の支援についての見通しを立て、修正が必要な点はすぐに対応できるようにしていきたい。
2	カフェコーナー、プレイコーナーで思い思いに過ごすことができる。全てのことは自分自身で「選択」しなくてはならない。たくさんのおやつの中から自分で決める、今日は何をするのか自分で決める、ということ積み重ねていく。小さな選択を積み重ねていくことにより、大事な場面でも自分で選択できるようになると考える。	好きなおやつがいつも通りにあるとは限らない。売切れたらあきらめる、他のものを選ぶ、新しいものに挑戦する、などゆっくりと考え、自分なりに結論が出せるように、カフェスタッフはじっくりと待っている。決められた金額内でのやりくりの感覚もつけることができる。一緒に遊ぶためにはルールが必要になる。みんなが納得するように選んで決めていくことも大切になってくる。	遊びの中では、自分だけでなく、他者との関係も考慮に入れて選択しなくてはならなくなる。誰と何をして遊ぶか、ルールはどうするか、などより複雑になる。そのような場面でも、どうするかについてゆっくりと考える時間を持てるようにしていきたい。
3	閉室時刻が遅いため、中高生が部活動の帰りでも利用することができる。小学1年生の頃より通い始め、高校3年生で卒業するまで利用することができるため、長期にわたって利用する方も多い。	遅い時間、特に運動部帰りの来室となるとお腹も減る。中高生が喜びそうなおにぎりなどのメニューもそろえたカフェ活動を行っている。また、中高生ならではの悩みや相談事にも乗ることができるようにしている。	遅い時間の中高生は、学習支援が終わると個々にスタッフと話をし帰ってしまうことが多い。同じ時間に利用している利用者同士で話をしたり、交流したりすることができるような場の設定を工夫してもよいと考える。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
--	--	-------------------	----------------------

1	<p>レクタスに通うことを楽しみに思っている利用者については、これまで通りの支援を継続していきたい。だが、楽しみに通うことについて「どちらともいえない」「わからない」という利用者がある程度いることについては、なぜなのかを考える必要がある。</p>	<p>レクタスに通う利用者の中高生については、自分で課題だと思ふことに取り組む利用者も多い。例えば、不登校のため、少しでも外に出ることのできる居場所をつくりたい、積み残した学習内容を身に着け追いつき自信をつけたい、抱えている悩みを相談したいなどである。外出や他者に会うことなどに対して極度に緊張してしまうが、がんばりたい場所、自分にとって役立つ場所として利用していると考える。</p>	<p>とても繊細な方の場合、来室を楽しみに感じることができるとは難しい場合もある。それでも、今の自分を変えていきたい、できることを増やして将来の自分のための力を蓄えたい、という切実な思いは受け止めていきたい。そして、そのような困難な時こそ寄り添い、一緒に課題を解決できるような支援を行っていきたい。</p>
2	<p>今年度は、レクタス全体としての保護者のための学習会に実施はあったが、教室主催での学習会を行うことができなかった。</p>	<p>保護者の抱える悩みや困りごとについてのリサーチが十分ではなかった。</p>	<p>保護者の中より抱えている課題を探り、それについての学習会などが行えるようにしていきたい。来年度は、保護者の体験談の報告や情報交換などを行うことができるような機会を設けていきたい。</p>
3	<p>学校や他事業所など、外部の関係機関との連携がなかなかできない。</p>	<p>相談支援室の利用者がとても少ないこと、また、送迎を行っていないため学校へ出向くことがほとんどないことが要因と考える。</p>	<p>今後、相談支援室の利用が増えることがあれば、相談支援員との連携を行い、学校や他の関係機関とつながるようにしていきたい。また、区の部会等にも参加することで、他事業所などとのつながりも深めていきたい。</p>

事業所名	レクタス放課後等デイサービス都筑ふれあいの丘教室
------	--------------------------

公表日 令和8年 3月 31日

利用児童数 45

回収数 29

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	83%	10%	0%	7%		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	90%	3%	0%	7%		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	65%	25%	3%	7%		
適切 な 支 援 の 提 供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	97%	3%	0%	0%		
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	86%	9%	0%	5%		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10%	21%	24%	45%		
保 護 者 へ の 説 明 等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	97%	0%	0%	3%		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができてきているか	94%	0%	3%	3%		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	91%	3%	3%	3%		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	35%	21%	10%	34%		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	69%	0%	0%	31%		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	97%	0%	0%	3%		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	79%	12%	3%	6%		
14	個人情報に十分注意しているか	93%	0%	0%	7%			
非 常 時 等 の 対 応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	66%	7%	3%	24%		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	83%	0%	0%	17%		
満 足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	66%	24%	0%	10%		
	18	事業所の支援に満足しているか	90%	10%	0%	0%		
そ の 他	自由記述							
	19	<p>いつもありがとうございます。今後もご指導のほどよろしく申し上げます。</p> <p>いつもありがとうございます。子供が安心して通えているのも先生方のおかげです。これからもよろしく申し上げます。</p> <p>責任者の方や先生方には本人の特性をよく理解していただき、日々支援を行っていただいております。おかげさまで、子供は安心して通え、学習にも少しずつですが、自信を持てるようになってきている様子があります。保護者の子に対する困りごとや相談にも親身考えてくださり、いつも助けていただいております。レクタスさんに通うことができ、本当によかったですと感じております。ありがとうございます。そして、これからもよろしく申し上げます。</p> <p>此方の教室を知り通わせて頂きとても感謝しております。小学校高学年から今年大学生になるまで本当にお世話になり本人の頑張りもありますが、レクタスの先生方には感謝しかありません。</p> <p>いつもありがとうございます。</p> <p>いつもお世話になっております。その子の特性に合わせてご対応くださっていることに感謝しています。小さなことも気づいてくださり褒めていただき本人にとっても大変心強く、嬉しいことだと思います。ありがとうございます。</p> <p>いつもその日の状態に合わせて、優しく寄り添っていただき感謝しています。</p>						

事業所名		レクタス放課後等デイサービス都筑ふれあいの丘教室			公表日 令和8年 3月 31日		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	92%	0%	8%		
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	25%	50%	25%	階段の利用が困難な利用者様に関しては、必ずスタッフがついて補助を行っている。	階段が多い
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	83%	17%	0%		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	83%	17%	0%		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	83%	17%	0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	58%	42%	0%		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%		
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	92%	8%	0%		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	75%	25%	0%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	75%	25%	0%		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	75%	25%	9%		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	58%	42%	0%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	75%	25%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	50%	50%	0%		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	92%	8%	0%		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	83%	17%	0%		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	83%	17%	0%		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	83%	17%	0%		

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	92%	8%	0%		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	42%	50%	8%		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	50%	50%	0%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	50%	50%	0%		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	42%	58%	0%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8%	84%	8%		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	83%	17%	0%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	67%	33%	0%		
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	92%	8%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	83%	17%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援をしているか	75%	25%	0%		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	92%	8%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	83%	17%	0%		
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%		
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8%	67%	25%		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	92%	8%	0%		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	42%	58%	0%		
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	83%	17%	0%			

その他	44	自由記述